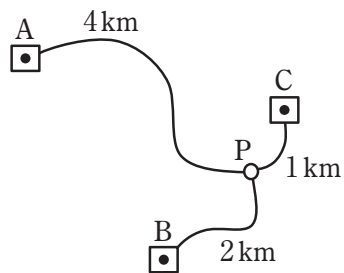


図のように、三つの水準点 A～C から点 P の標高を求めるため直接水準測量を行い、表のような結果を得た。点 P の標高の最確値はいくらか。



水準点	点 P の測定値 [m]	点 P との距離 [km]
A	12. 416	4
B	12. 412	2
C	12. 425	1

1. 12. 418 m
2. 12. 419 m
3. 12. 420 m
4. 12. 421 m
5. 12. 422 m

上級試験
総合土木 I

出題分野 測量
正答位置 3

農道の路床に関する次の記述の A ～ E に当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

路床は、舗装（路盤を含む）の最下面から下の部分で、盛土区間では から下の、切土区間では掘削した面から下の、深さ約 1 m の土の部分指し、舗装と一体となって交通荷重を支持し、路体に対して交通荷重をほぼ一定に分散する役割をもつ。なお、軟弱な路床を改良するため路床の一部又は全てを良質な材料で 層や、石灰・セメントなどで 層、あるいは、寒冷地における凍上抑制層などは路床に含まれる。

路床土の良否は、その上部に設ける舗装の厚さに大きな影響を与える。このため、その土質の判定に当たっては十分な検討が必要であり、一般に物理的性質（、粒度、比重、コンシステンシーなど）及び力学的性質（、地盤係数など）を明らかにするための土質試験を行う。その結果や施工事例などの資料を参考にして、路床土としての適否や路床改良方法を決定する。

A	B	C	D	E
1. 基礎地盤面	置き換えた	安定処理した	CBR	含水量
2. 基礎地盤面	安定処理した	置き換えた	含水量	CBR
3. 盛土仕上り面	置き換えた	安定処理した	CBR	含水量
4. 盛土仕上り面	置き換えた	安定処理した	含水量	CBR
5. 盛土仕上り面	安定処理した	置き換えた	含水量	CBR

上級試験
総合土木 I

出題分野 農業土木構造物
正答位置 4